

地域	静岡県 富士宮市	認定日	平成21年3月19日	通巻番号	3 - 20 - 043
----	----------	-----	------------	------	--------------

事業名	香り豊かで脂身に旨みがあった甘みのある 新しいブランド豚の開発・販売
-----	---------------------------------------

連携体	中小企業者 (株)さの萬(肉製品製造業)
	農林漁業者 桑原養豚場(養豚業)
	連携参加者

サポート機関等	静岡県商工会連合会、静岡県富士農林事務所、地域活性化支援事務局、NPO食の安全安心の会、NPO法人駿州大宮逸品会、富士宮フードバレー推進協同組合、静岡県立農林大学校
---------	--

事業概要(連携の経緯、商品等の新規性・市場性・競争力)

連携の経緯
 (株)さの萬は、流通関係者から香りを楽しめ、脂身に特徴があり、味に甘みのある豚肉の要望が多く挙がってきていたことから、取引先である桑原養豚場と、こうしたニーズに応えることのできる豚の生産開発を本格的に行うことの必要性を感じていた。このため、消費者にも分かりやすい科学的裏付けを持ったブランド基準を策定し、それによる新しいブランド豚の開発と販売を実施する。

食肉取扱いの高い専門度を有する「さの萬」



朝霧高原の豊かな環境を有する「桑原養豚場」

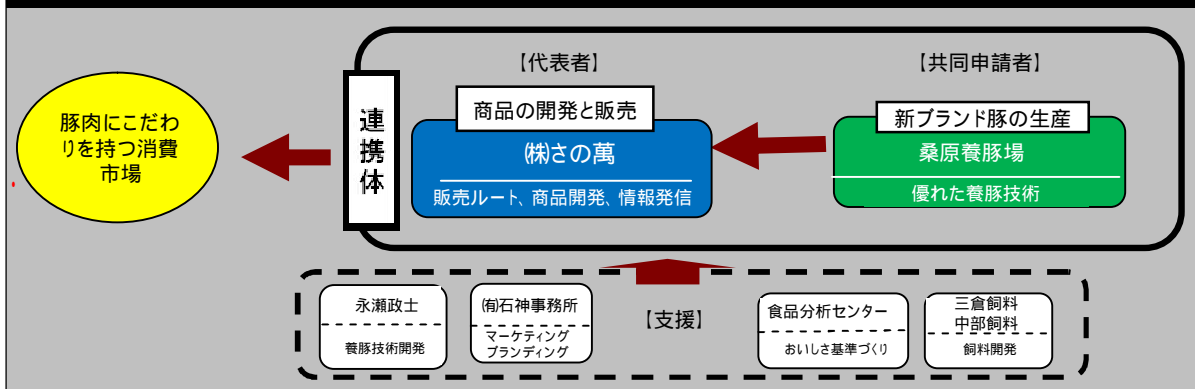


ブランド基準の一つである加熱時に縮みの少ない肉質の豚
(トレイ上段が試作途上肉、下部が国産一般豚)



新商品又は新役務の内容とその市場性・競争力
 新しいブランド豚の開発には、桑原養豚場が養豚コンサルタントの支援を受け、母豚、精液の選定から独自に開発した飼料により生産を行う。(株)さの萬は、消費者及び流通関係者等と連携し、食感、ジューシーさ、旨味、脂香りなどの項目によるブランド基準を設定し、この基準に合致した新ブランド豚を部位の特性に応じた加工を行い、さらに「ハム・生ハム貯蔵庫」、「焼豚炉」の新設による新しい販売方法を導入する。こうした、事業活動を通じて、新しいブランド豚として市場への定着化を図り、販路を拡大する。

連携体の構成と活用する経営資源



<p>期待される地域経済への効果等</p> <p>新商品の売上高……………1.5億円(平成24年度) 本連携に伴う新規雇用創出者数…4名(平成24年度連携体全体) 地域ブランド「スーパー萬幻豚」の確立</p>

<p>代表企業等の連絡先</p> <p>代表者(所在地):株式会社 さの萬 (静岡県富士宮市宮町14-19) 電話番号:0544-26-3352 F A X 番号:0544-26-3433 E-mail:info@sanoman.net ホームページ:http://www.sanoman.net</p>
--